

配布先：安全技術応用研究会 会員各位

発行：2017年9月28日

第17回関西月例会 議事録	安全技術応用研究会		
	承認	確認	作成
	事務局長 畑	企画運営委員会 増田	関西月例会 釜谷

日 時：2017年9月8日 13:00～17:30

場 所：IDEC 株式会社 本社ホールA

出席者：11名（法人会員：5社（5名）、個人会員：6名）

1. 定例報告

1) 第292回東京地区月例会の情報共有(企画運営委員会)

- ・第292回月例会議事録に従って説明がなされた。
- ・関西地区委員会活動で「安全要求仕様書の手引き」が完成した。10月度東京地区月例会で内容報告を行う予定。

2) 情報トピックスについての補足

- ・研究テーマ「IEC60204-1のJIS化改訂内容」については、一旦保留。後でまとめて報告予定。
- ・ロボット委員会活動内容を次回報告予定。
- ・次回の討議テーマは「リスクアセスメント：危害のひどさの見積もり」を予定。
- ・向殿先生の特別講演を計画している。

3) 企画運営委員会補足

- ・特になし。

4) 関西月例会・関西委員会活動報告

- ・今回、東京月例会での報告は無し。

5) 研究テーマ報告

- 「関西委員会が作成した安全要求仕様書の概要」
- ・東京月例会で発表された内容について、報告された。
- ・作成に携わっていない関西月例会メンバーは、一度、「安全仕様要求書の手引き」に目を通し、意見等がある場合は、9/16までに連絡すること。

6) 討議テーマ

- 「危険源の発生原因」から「想定される結果」へ導くための方法論の議論
- ・「前回月例会で議論したユーティリティ追跡法[TI法(UHIM)]による危険源同定について補足」に関して、東京の月例会での議論内容を含めて報告された。
- ・同じ危険源でも、作業者の作業の形態によって危害のひどさ等が変わる場合がある。
- ・メーカの設計者が、設計段階のリスクアセスメント時に、作業者の作業を抜けなく想定できるようにするための手段に関して、意見交換を行った。

2. 月例会（関西地区）の討議事項

- ・今年度から安応研に参加することになった1名が、「自社・自身の現状」、「安応研にて学びたい事／やりたい事」等を発表した。

3. その他

1) 関西月例会配付・発表資料

資料番号	資料名
292-3-1	危険源リストの活用法検討

2) 月例会開催予定

- ・ 東京地区(月例会)： 9月22日（金）10:00～ 品川区(きゅりあん5階 第2講習室)
- ・ 関西地区(月例会)： 10月13日（金）13:00～ 新大阪(IDEC 本社)

以上